

「う・ら・ら」ダイヤ改正の方針について

今回の書面決議では、ダイヤ改正に関する具体的な意見交換による合意形成が困難であると判断し、以下の【ダイヤ改正の方針】についてのみ協議を行います。

(1) 「ダイヤ改正の方針」の趣旨について

令和元年10月1日に実施したダイヤ改正で次のような問題・課題が生じた。令和2年2月のダイヤ改正などにより対応した課題等もあるが、未対応のものも残っている。現在、新型コロナウイルス感染症対策として、外出自粛が叫ばれている状況下ではあるが、これらの課題の解消・軽減を速やかに実施するため、ダイヤ改正を協議していきたいと考えている。

(1) 対応済みの問題・課題

問題・課題	解決方法	対応時期
乗りこぼし	「東浦高校線(文化センター経由)」の小型11号車1便「県営東浦住宅」と「アイプラザ」を通過させ、「石浜コミュニティセンター」や「芦間」などでの乗りこぼしリスクを軽減	令和2年2月に実施済
緒川駅での乗継問題	乗降場所を確保(ロータリーの柵を撤去)し、利用者が車内で待機できるよう改善	令和2年2月に実施済
行先表示が不親切	(小型)サンバイザーに路線名などを表示し、利便性を向上	令和元年11月に実施済
	(中型等)電光案内板に路線名と経由などを表示し、利便性を向上	令和2年1月に実施済
ダイヤ改正後の利用促進	サロンにて、新ダイヤの説明会を実施し、バスの乗り方や時刻表の読み方なども説明(全8回、実施者数は180名)	令和元年11月～令和2年2月に実施済

(2) 今後対応する問題・課題

問題・課題	解決方法	対応時期(予定)
乗りこぼし	小型12号車をポンチョに変更することで、「長寿線」や「環状線(右回り)」で発生している乗りこぼし問題の解消を図る	令和2年度中
	「環状線(右回り)」を12時代に増便することで、「イオンモール東浦」での乗りこぼしリスクを軽減	令和2年度中
緒川駅での乗継待機時間が長い	緒川駅での乗継待機時間を短縮し、乗継利用者の利便性向上を図る	令和2年度中
長寿線でのイオン等乗入れ	長寿線をイオンモール東浦に延伸するルートに路線を変更する	令和2年度中

(2) ダイヤ改正の方針について

先ほど提示した問題・課題を解消するための【ダイヤ改正の方針】は次の4点である。

1 小型12号車をハイエースからポンチョに変更

小型12号車をハイエース(13人乗り)からポンチョ(36人乗り)に変更することで、「長寿線」や「環状線(右回り)」で発生していた乗りこぼし問題の解消を図る。また、小型12号車をポンチョに変更することで、刈谷豊田総合病院への朝の通院便を「小型11号車と小型12号車(両車両ともハイエース)」の2台から、「小型12号車(ポンチョ)」1台で対応できるようになる。

2 緒川駅での乗継待機時間の短縮

令和元年10月から令和2年3月の遅延状況等データの収集・分析及び運行事業者との調整を行った結果、緒川駅での乗継待機時間を短縮しても運行に支障がないことが分かった。

緒川駅での乗継待機時間を20分程度から5分程度に短縮することで、乗継利用者の利便性向上を図る。なお、ここで確保していた乗務員の休憩時間は「長寿医療研究センター」や「刈谷駅(待機所)」等への振り分けを検討している。

3 長寿線のイオンモール東浦への延伸

長寿線利用者の強いニーズがあった「イオンモール東浦」への延伸を実施。これにより、「長寿医療研究センター直行便」を除く全路線が「イオンモール東浦」で乗り継ぎ可能となる。



4 環状線（右回り）の増便

「1 小型12号車をハイエースからポンチョに変更」と「2 緒川駅での乗継待機時間の短縮」を実施することで、「環状線（右回り）」の正午ごろの増便を検討し、「東浦高校線（文化センター経由）」の「イオンモール東浦」で発生していた乗りこぼし問題の解消を図る。

※現在、ダイヤ素案については、運行事業者等と協議を重ね、調整しています。

（3）ダイヤ改正の時期について

ダイヤ改正には、委員の皆様と十分な意見交換による合意形成が不可欠である。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い会議開催の見通しが立たない状況となっているが、次回の会議を7月頃に開催できたと想定した場合、会議で頂いた意見を取り入れた修正案の作成、再度の会議開催、議会の承認による予算の確保や時刻表の印刷などのダイヤ改正業務の期間を考慮すると、【令和3年2月】頃がダイヤ改正の時期と見込まれる。